

## 令和 8 (2026) 年度

# 東京大学大学院経済学研究科修士課程学生募集要項補足説明書

本説明書は、令和 8 (2026) 年度東京大学大学院経済学研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。提出書類の作成及び受験に当たり必ず参照すること。

### 1. 本研究科の専攻領域編成と授業科目

本研究科には、経済、マネジメントの二つの専攻が設けられている。経済専攻は、(1) 経済学\*、(2) 統計学、(3) 地域研究、(4) 経済史の四つのコースが設けられており、(1) は経済学の研究を、(2) は統計学の研究を、(3) は地域研究を、(4) は経済史の研究をそれぞれ主な目的とするコースである。マネジメント専攻は、(1) 経営学、(2) 数量ファイナンスの二つのコースが設けられており、(1) は企業及び市場組織の分析並びに会計の研究を、(2) は金融及びファイナンス理論の研究をそれぞれ主な目的とするコースである。

\*経済学コースは、別途学生募集を行う。

### 2. 出願（郵送）方法について

- ・日本国内から発送：提出書類を一括して角形 2 号封筒に入れ、出願システムから出力される送付用ラベルを封筒に貼りつけて必ず**速達・書留郵便**にて送付すること。
- ・日本国外から発送：出願システムから出力される送付用ラベルも含め提出書類を一括してEMSなど配達記録が残る形にて送付すること。

### 3. 「志望コース」の選択について

志望コースは、原則として修士課程において研究しようとする領域、特に修士論文の主題として取り上げたいと考えている研究テーマに則して選択すること。各コースの授業科目は〔別表 1〕、各教員が開講している講義あるいは演習題目は〔別表 2〕のとおりである。各教員の所属と担当分野を参考にして志望コースを決定すること。入学後のコース変更は、原則として認められないので、コース選択の際には注意すること。

経営学コースを志望する者は、口述試験の志望分野について、研究計画書の内容等から以下の中で最も近いものを必ず 1 つ選択すること。

#### 【経営学コース】

1. 経営〔組織論、戦略論、マーケティング、イノベーション論、人的資源管理論、国際経営論、経営史などの分野を志望する者（会計学を除く経営学分野を志望する者）〕、
2. 会計（会計学分野を志望する者）

### 4. 「専門科目の試験」について

専門科目の問題群は、下記のとおりである。受験者は、志望コースそれぞれの指示に従い、解答すること。指示に従わない場合は、答案は無効とする。

問題群 I（統計基礎、数学）

問題群 II（経営 1、経営 2、財務・会計 1、財務・会計 2）

- ア. 統計学コース志望の受験者は、問題群Ⅰの統計基礎と数学の2問を解答すること。
- イ. 地域研究コース志望の受験者は、専門科目の筆記試験は行わないが、口述試験の際に専門分野（世界経済論及び経済学史）に関する基礎知識を問う質問も行う。
- ウ. 経済史コース志望の受験者は、専門科目の筆記試験は行わないが、口述試験の際に専門分野に関する基礎知識を問う質問も行う。
- エ. 経営学コース志望の受験者は、問題群Ⅱから2問を解答すること。
- オ. 数量ファイナンスコース志望の受験者は、GMATのスコアシートを提出すること。専門科目の筆記試験は行わないが、口述試験の際に専門分野に関する基礎知識を問う質問も行う。

## 5. 「外国語の試験」について

受験外国語は、経済専攻地域研究コース及び経済史コースを志望する者は、英語、ドイツ語、フランス語から1カ国語を選択するが、経済専攻統計学コース及びマネジメント専攻を志望する者は、英語を選択しなければならない。

申請・受験、スコア開示にかなりの時間を要することがあるので、時間に余裕をもって準備すること。

### 英語・TOEFLを選択する場合

- (1) 2023年10月1日から2025年6月20日までにTOEFL (iBT、iBT Home Edition。なお、受験地は問わない。所属団体等で実施するITPは認めない。)を受験し、同期間内にETSへ東京大学大学院経済学研究科宛にInstitutional (Official) Score Reportを送信するよう請求すること。Test Taker Score Reportの提出は不要。本研究科において英語の試験は行わない。

※ 本研究科のTOEFLのInstitution Code No. :7101 (Department Code:99)

- (2) 出願時にWeb出願システムへAppointment Number、受験日、点数を入力すること。
- (3) Institutional(Official) Score Reportを複数回送信することは可能だが、その場合もスコアを1つだけ決めて、Web出願システムへAppointment Number等を入力すること。
- (4) 障害や健康上の理由により、英語の試験を受験する上で特別な配慮を必要とする場合は、予め本人からETSの特別配慮を申請したうえでTOEFLを受験してから、出願受付期間内にスコアシート及び特別配慮が受理されたことがわかるメール等をプリントしたものを提出すること。

### 英語・TOEICを選択する場合

- (1) マネジメント専攻を志望する者はTOEFLのスコアに代わりTOEICのスコアを提出することができる。この場合、出願時に2023年10月1日から2025年6月10日までに日本国内で受験したTOEIC Listening & Reading Testのデジタル公式認定証のPDFをダウンロードし、印刷したものを提出すること。ただし、団体特別受験制度 (IP : Institutional Program) のScore Report (個人成績表)は認めない。
- (2) 公式認定証は、スコア確認用QRコードが付されているものに限る。有効試験期間内に受験したが、ETS側の問題によりスコア開示が出願に間に合わない場合には、No13.その他 問い合わせ先にEメールにて連絡すること。
- (3) 出願時にWeb出願システムへ受験日、点数、デジタル公式認定証のURLを入力すること。
- (4) 障害や健康上の理由により、TOEICを受験する上で特別な配慮を必要とする場合は、予め本人からTOEICのプライオリティサポートを申請したうえでTOEICを受験してから、出願受付期間内に公式認定証及び特別配慮が受理されたことがわかるメール等をプリントしたものを提出すること。

### ドイツ語を選択する場合

ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験 B1 の成績表を提出する。ただし、B2、C1、C2 (GDS) の成績表をもって代えることもできる。この場合には事前に前記試験を受け、成績表のコピーを願書に添付して提出する。本研究科においてドイツ語の試験は行わない。(成績の可否は問わず成績表を提出することができる。) 出願受付期間内に提出できない場合は、願書は受理しない。

### フランス語を選択する場合

日仏文化協会・フランス語能力認定試験 (TEF) の必須試験の成績表のコピーを願書に添付して提出する。本研究科においてフランス語の試験は行わない。出願受付期間内に提出できない場合は、願書は受理しない。

## 6. 「GMAT のスコアシート」の提出について

- (1) 数量ファイナンスコースを志望コースとする者は、2023 年 10 月 1 日から 2025 年 6 月 20 日までに GMAT 又は GMAT Focus Edition を受験し、同期間内に GMAC へ東京大学大学院経済学研究科 (Masters in Finance) 宛にスコアシートを送信するよう請求すること。Unofficial GMAT Score Report の提出は不要。

### ※ 本研究科の GMAT の Program : University of Tokyo, Graduate School of Economics - Masters in Finance

- (2) 出願時に Web 出願システムへ受験日、Appointment ID (Number)、Quantitative のスコアを入力すること。

## 7. 成績証明書及び卒業 (見込) 証明書について

- (1) 出身 (在学) 大学が発行した紙媒体の証明書を提出すること。(コピーや電子媒体は不可)
- (2) 日本語又は英語以外の言語を使用している場合は、原本及びその日本語訳を提出すること。
- (3) 編入学等をした場合は、編入学前の出身大学の成績証明書を含む大学学部在学中のすべての成績証明書の提出が必要である。(大学を退学して別の大学に入学し、卒業 (見込) した場合、退学をした大学分の成績証明書も必要である)
- (4) 外国の大学を卒業した場合 (卒業見込含む) は、取得学位名及び学位取得 (見込) 年月が記載された卒業 (見込) 証明書を提出すること。卒業証明書に取得学位名及び学位取得 (見込) 年月が記載されていない場合は、学位取得 (見込) 証明書もあわせて提出すること。なお、本研究科入学日までに学士学位を取得することが証明書により確認できない場合には、出願は受理しない。  
また、外国の大学を卒業し (卒業見込含む)、高等学校卒業までの学校教育が 12 年に満たない場合は、該当の学校又は教育委員会が発行した飛び級証明書を提出すること。
- (5) 既に修士の学位を取得している場合 (取得見込含む) は、修士課程の成績証明書も提出すること。
- (6) 留学先大学等で履修した授業の単位が出身 (在学) 大学における単位として認定されている場合は、認定された総単位数だけでなく、その授業の留学先大学等における評価 (優、良、可など) のわかる証明書を提出すること。短期留学 (1 年以内) の場合は、留学先大学が発行した成績証明書はコピーでもよい。
- (7) 本学卒業見込者及び既卒者は、学部 (後期課程) の成績証明書及び教養学部 (前期課程) の成績証明書を提出すること。

- (8) 数量ファイナンスコースを志望コースとする者は、大学（大学院）において単位を取得した科目の内、特に、金融工学、数理ファイナンス及び、微積分・線形代数、確率、統計等数理系科目の科目名、成績、単位取得年次を記した一覧表を作成して添付すること。

一覧表は以下 URL よりダウンロードすること。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/grad/m-nyushi.html>

## 8. 研究計画書について（オンライン提出と郵送は同じものとする。）

- (1) 全コースの共通の指示は以下のとおりである。

ア. ホームページ掲載の作成見本を参照のうえ、最初のページの冒頭に、「研究計画書」と明記し、氏名、志望コース、研究テーマ（日本語の場合は 30 字以内、英語の場合は 15words 以内）を記載すること。

イ. A4 判の用紙に両面印刷のうえ、用紙の左上を 1 部ずつホチキスで留めること。

ウ. 同一の研究計画書を 3 部提出すること。

- (2) 上記 (1) に加えて各コースの指示は以下のとおりである。

ア. 統計学コースの研究計画書は、10 ページ以内とし、最初の 3 ページに統計コースを志望した理由、動機とともに入学後の研究計画を記載し、残りの枚数で統計学又は計量経済学に関するエッセーを記載すること。エッセーは、例えば卒論の内容でも、今興味を持って取り組んでいる課題を小論文として執筆したものでよい。ただし、数学的な能力の高さを評価するので、エッセーは数式に基づいて論理的に記述された内容である必要がある。なお、使用言語は日本語又は英語とする。

イ. 地域研究コースの研究計画書は、10 ページ以内とし、内訳として、今後の研究テーマ、研究目的及び研究方法について 3 ページ以内、専門分野（地域研究、経済学史など）に関する小論文を 7 ページ以内にまとめること。なお、使用言語は日本語または英語とする。

ウ. 経済史コースの研究計画書は、10 ページ以内、内訳として、大学院入学後の研究計画について 3 ページ以内、経済史に関する小論文を 7 ページ以内にまとめること。なお、使用言語は日本語又は英語とする。

エ. 経営学コースの研究計画書は、今後の研究テーマ、研究目的及び研究方法について、日本語の場合は 6 ページ程度（10,000 字程度）、英語の場合はダブルスペースで 9 ページ程度にまとめること。なお、本研究科に入学してから行う予定の研究計画について、これまでの準備状況が分かるように書くこと。

オ. 数量ファイナンスコースの研究計画書は、前半部分で今後の研究テーマ、研究目的及び研究方法について日本語の場合は 3,000 字程度、英語の場合はダブルスペースで 3 ページ程度にまとめ、後半部分で数量ファイナンスに関連して学習していることについて日本語の場合は 7,000 字程度、英語の場合はダブルスペースで 7 ページ程度にまとめること。

## 9. 推薦書について

推薦書の提出は、以下のとおりとする。

- ・統計学コース、地域研究コース、経済史コース及び経営学コースは 1 通必須、2 通目任意とする。
- ・数量ファイナンスコースはその提出は任意とする。

推薦書の作成は、指導教員又は志願者の学業や職務内容を判断できる者に依頼すること。オンライン申請の推薦書アップロード画面に掲載する様式を使用して作成してもらうこと。

## 10. 参考業績について

- (1) 参考業績として、未発表のものも含めた、著書、論文（卒業論文、演習論文又はそれに準ずる論文等）、調査・報告書、学会報告等を提出することができる。
- (2) 日本語又は英語以外の外国語で記述された参考業績については、日本語（A4判の用紙で800字以内）又は英語（A4判の用紙でダブルスペース1枚以内）の要約を添付して提出すること。
- (3) 参考業績を提出する場合は、参考業績のタイトル、発表時期、既発表・未発表の別等を発表時期の順に記載した「参考業績リスト（ホームページ掲載の作成見本参照）」を作成し、参考業績と併せて提出すること。なお、共同業績の場合は、志願者の貢献部分を明記すること。
- (4) 各参考業績の表紙にそれぞれ氏名を記入すること。
- (5) 参考業績は、「写し」で差し支えない。

## 11. 職務内容説明書（様式随意）

使用する用紙のサイズは、A4判とする。使用言語は日本語又は英語とする。

## 12. 外国人出願者への注意

- (1) 筆記試験の専門科目について  
英語で解答することができる。  
ただし、外国人出願者でも、次の者は日本語で解答しなければならない。  
ア. 日本に永住許可を得ている者（特別永住者を含む）  
イ. 日本の高等学校を卒業した者  
ウ. 日本の大学を卒業した者及び令和8（2026）年3月末までに日本の大学において学士の学位を得る見込の者  
エ. 日本の大学院において修士の学位を得た者及び令和8（2026）年3月末までに修士の学位を得る見込の者
- (2) 「日本語能力試験 N1 合格の証明書」について  
〔日本の高校、大学（大学院）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込の者、又は、日本に永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は提出不要。ただし、提出不要とする根拠資料を提出すること。例えば、日本の高校の卒業証明書、在留カードの写し 等。〕  
公益財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している日本語能力試験 N1 レベル（1 級）の合否結果通知書の写し又は N1 レベル（1 級）合格を証明した日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写しを提出すること。N1 レベル（1 級）の日本語能力認定証の写しを提出する場合、成績も提出すること。出願受付期間内に提出できない場合は、願書は受理しない。  
なお、上記以外の証明書による日本語学力の証明は認めない。
- (3) 出願時現在、日本政府（文部科学省）から奨学金を得ている留学生については、その在籍大学から発行された「国費留学生証明書」を提出すること。この証明書がない場合は、検定料を納付しなければならない。ただし、東京大学に籍を置く者については、提出不要。

## 13. その他

出願に際して不明な点等があれば、教務チーム大学院担当に問い合わせること。

問い合わせ先 東京大学大学院経済学研究科事務部教務チーム大学院担当  
E-mail : gradinfo@e.u-tokyo.ac.jp

- [別表 1] 大学院経済学研究科修士課程授業科目表
- [別表 2] 令和 6 年度・令和 7 年度開講科目一覧

## 大学院経済学研究科修士課程授業科目表

経済専攻			マネジメント専攻		
共通	経済学	統計学	経営学		数量ファイナンス
経済原論	メカニズムデザイン	経済統計	企業会計	経営学ワークショップⅠ	上級デリバティブⅠ
経済学方法論	ミクロ経済学特論	経営統計	経営管理Ⅱ	経営学ワークショップⅡ	上級デリバティブⅡ
政治経済学	マクロ経済学特論	数理統計特論	経営戦略Ⅱ	財務・会計ワークショップⅠ	実証ファイナンス
ミクロ経済学Ⅰ	数理経済学	計量経済特論	経営史Ⅱ	財務・会計ワークショップⅡ	数量ファイナンスⅠ
ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学ワークショップⅠ	統計学輪講	グローバルベンチャリングⅡ	社内イノベーターワークショップ	上級デリバティブ演習Ⅰ
マクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学ワークショップⅡ	統計学演習	雇用システムⅡ	経営学特論	数量ファイナンスⅡ
マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学ワークショップⅠ	論文指導（修士）	フード・システムⅡ	会計学特論	上級デリバティブ演習Ⅱ
経済学のための数学	マクロ経済学ワークショップⅡ	特別論文指導	経営科学Ⅱ	社内イノベーター特論	保険数理Ⅰ
計量経済学Ⅰ	理論経済学特論		生産システムⅡ	経営学演習	保険数理Ⅱ
計量経済学Ⅱ	経済理論演習	地域研究	日本経営史Ⅱ	会計学演習	保険数理Ⅲ
基礎数理統計Ⅰ	金融政策	経済学史	国際経営Ⅱ	社内イノベーター演習	インベストメント
基礎数理統計Ⅱ	金融システム論	社会・経済思想	マーケティングⅡ	論文指導（修士）	経営財務Ⅱ
統計的推測理論Ⅰ	現代財政Ⅰ	経済原論特論	技術経営Ⅱ	特別論文指導	企業会計
統計的推測理論Ⅱ	現代財政Ⅱ	経済学方法論特論	ICTマネジメントⅡ		数量ファイナンスとデリバティブ
応用統計Ⅰ	財政理論	アジア経済	財務会計Ⅱ		財務会計Ⅱ
応用統計Ⅱ	公共経済	中国経済	管理会計Ⅱ		管理会計Ⅱ
測度論的確率論Ⅰ	開発経済	経済発展	経営財務Ⅱ		コーポレート・ガバナンス
測度論的確率論Ⅱ	国際貿易	国際経済特論	インベストメント		資産流動化と不動産ファイナンス
世界経済Ⅰ	国際金融	現代経済演習	実証ファイナンス		企業財務戦略
世界経済Ⅱ	産業経済	論文指導（修士）	上級デリバティブⅠ		金融機関のリスク管理
財政	労働経済	特別論文指導	ビジネスエコノミクス		会計学演習
日本経済史Ⅰ	都市経済		フィールドリサーチ方法論		会計学特論
日本経済史Ⅱ	ビジネスエコノミクス	経済史	経営学研究法		管理会計研究
欧米経済史Ⅰ	応用計量経済	近代欧米経済史	経営管理研究		財務会計研究
欧米経済史Ⅱ	現代金融特論	現代欧米経済史	経営戦略研究		財務・会計ワークショップⅠ
アジア経済史	現代財政特論	近代日本経済史	雇用システム研究		財務・会計ワークショップⅡ
	国際経済特論	現代日本経済史	雇用労働研究		アクチュアリーワークショップⅠ
	産業経済特論	欧米経済史文献・資料研究	フード・システム研究		アクチュアリーワークショップⅡ
	労働経済特論	アジア経済史文献・資料研究	生産システム研究		ファイナンスのための確率Ⅰ
	現代日本経済特論	日本経済史文献・資料研究	経営史研究		ファイナンスのための確率Ⅱ
	経済学演習	比較経済史特論	国際経営研究		数量ファイナンス特論
	論文指導（修士）	経済政策史特論	マーケティング研究		論文指導（修士）
	特別論文指導	産業史特論	技術経営研究		特別論文指導
		経済思想史特論	管理会計研究		
		経済史演習	財務会計研究		
		論文指導（修士）	経営組織研究		
		特別論文指導			

## 令和6年度・令和7年度開講科目一覧

## 経済専攻

## 経済学コース

担当教員		所属	講義・演習題目	
職名	氏名		令和6年	令和7年
教授	青木 浩介	経済	マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学ワークショップⅠ、マクロ経済学ワークショップⅡ、金融政策	マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学ワークショップⅠ、マクロ経済学ワークショップⅡ
教授	栗屋 祐	経済	-	Topics in Game Theory
教授	飯塚 敏晃	経済	医療市場の実証分析	-
教授	岩本 康志	経済	Economic Analysis of Pandemics	Economic Analysis of Pandemics、財政理論
教授	植田 健一	経済	Macro Contract Theory and Empirics、International Finance I、International Finance II、政策・ビジネスのためのデータ分析	Development Economics: Macroeconomic Approach、International Finance I、International Finance II、政策・ビジネスのためのデータ分析
教授	大橋 弘	経済	-	-
教授	小川 光	経済	-	租税競争の理論
教授	尾山 大輔	経済	経済学のための数学、Topics in Economic Theory、数学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅰ、経済学のための数学、数学Ⅱ
教授	川合 慶	経済	Industrial Organization III	Industrial Organization III
教授	川口 大司	経済	Labor Economics II	-
教授	小島 武仁	経済	ミクロ経済学Ⅱ、Introduction to Matching Theory and Market Design	ミクロ経済学Ⅱ
教授	佐藤 泰裕	経済	地域経済	都市経済
教授	澤田 康幸	経済	Foundations of Development Economics	Foundations of Development Economics、Computational Economics
教授	新谷 元嗣	経済	マクロ経済学Ⅰ、Advanced Time Series Analysis(上級時系列分析)、Empirical Analysis of Dynamic Macroeconomic Models	-
教授	高崎 善人	経済	Advanced Development Microeconomics、Development Economics: Microeconomic Approach、Environmental Economics	Advanced Development Microeconomics、Development Economics: Microeconomic Approach、Environmental Economics
教授	中嶋 智之	経済	Topics in Macroeconomic Theory	-
教授	楡井 誠	経済	Macroeconomic Dynamics	-
教授	林 正義	経済	現代財政Ⅰ、現代財政Ⅱ、演習：地方財政の実証分析	現代財政Ⅰ、現代財政Ⅱ、演習：地方財政の実証分析
教授	肥後 雅博	経済	応用経済統計、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ	応用経済統計、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ
教授	福田 慎一	経済	マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ	マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ
教授	古澤 泰治	経済	International Trade II	-
教授	星 岳雄	経済	Financial System I	-
教授	松井 彰彦	経済	ミクロ経済学Ⅰ	-
教授	松島 齊	経済	メカニズムデザイン	メカニズムデザイン
教授	柳川 範之	経済	ビジネスエコノミクス	ビジネスエコノミクス
教授	山口 慎太郎	経済	労働経済Ⅰ、Economics of the Family	-
教授	山本 裕一	経済	-	Recent Advances in Game Theory、ミクロ理論ワークショップⅠ、ミクロ理論ワークショップⅡ
教授	渡邊 安虎	経済	Political Economics、Topics in Political Economics	-
教授	石原 章史	社研	Economics of Contracts and Organizations	Economics of Contracts and Organizations
教授	加藤 晋	社研	An Introduction to Social Choice Theory	Formal Foundations of Politics, Philosophy, and Economics
教授	近藤 絢子	社研	Labor Economics I	Labor Economics I
教授	佐々木 弾	社研	ミクロ経済政策演習	-
教授	庄司 匡宏	社研	Interdisciplinary Issues in Development Economics	Interdisciplinary Issues in Development Economics
教授	田中 隆一	社研	教育経済学	教育経済学

教授	松村 敏弘	社 研	寡占理論	寡占理論
教授	WEESE, Eric	社 研	Political Economics、Topics in Political Economics	Political Economics、Topics in Political Economics
教授	CHEN, Stacey	公 共	Contemporary Issues in Development Economics	-
教授	高橋 孝明	空 間	都市経済政策	都市経済政策
准教授	GRIFFEN, Andrew S.	経 済	Empirical Microeconomics、R for Empirical Economics Research	-
准教授	田中 万理	経 済	Topics in Labor Economics Regarding Firms and Productivity	Topics in Labor Economics Regarding Firms and Productivity
准教授	仲田 泰祐	経 済	マクロ経済学ワークショップ I、マクロ経済学ワークショップ II、Economic Analysis of Pandemics	Economic Analysis of Pandemics
准教授	岡地 迪尚	総 合	-	-
准教授	川田 恵介	社 研	機械学習の実証経済学への応用	機械学習の実証経済学への応用
講 師	石出 旭	経 済	-	マクロ経済学 II、Macroeconomics based on Micro data、マクロ経済学ワークショップ I、マクロ経済学ワークショップ II
講 師	坂口 翔政	経 済	Machine Learning for Economics	Machine Learning for Economics
講 師	SON Suk Joon	経 済	マイクロ実証ワークショップ I、マイクロ実証ワークショップ II、Discrete Choice Models、Topics in Empirical Microeconomics	マイクロ実証ワークショップ I、マイクロ実証ワークショップ II、Discrete Choice Models
講 師	高木 悠貴	経 済	-	Political Economy of Regime Change
講 師	野田 俊也	経 済	マイクロ理論ワークショップ I、マイクロ理論ワークショップ II	マイクロ理論ワークショップ I、マイクロ理論ワークショップ II
講 師	LOU Yichuan	経 済	Introduction to Persuasion and Information Design、Information Acquisition and Disclosure in Mechanism Design、Essential Academic Skills	Introduction to Persuasion and Information Design、Information Acquisition and Disclosure in Mechanism Design、Essential Academic Skills
講 師	大津 優貴	空 間	都市経済政策	都市経済政策
講 師	ZHANG, Qianxue	公 共	-	マクロ経済学ワークショップ I、マクロ経済学ワークショップ II、International Trade I
特任講師	今村 謙三	経 済	-	マイクロ理論ワークショップ I
特任講師	ZHONG, Yaolang	経 済	-	Computational Economics
特任講師	中野 剛	経 済	-	政策・ビジネスのためのデータ分析

## 統計学コース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和 6 年	令和 7 年
教授	大森 裕浩	経 済	ベイズ統計学入門、ベイズ統計学 I、ベイズ統計学 II、統計学輪講、応用統計ワークショップ	応用統計、ベイズ統計学 I、ベイズ統計学 II、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教授	奥井 亮	経 済	計量経済学 II、統計学輪講、応用統計ワークショップ	計量経済学 II、因果推論、パネルデータ分析、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教授	下津 克己	経 済	計量経済学 I、多変量解析、Topics in Econometrics、統計学輪講、応用統計ワークショップ	計量経済学 I、Topics in Econometrics、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教授	倉田 博史	総 合	統計学各論、統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計学各論、統計学輪講、応用統計ワークショップ
准教授	入江 薫	経 済	数学 I、ベイズ統計学特論、統計学輪講、応用統計ワークショップ	ベイズ統計学特論、統計学輪講、応用統計ワークショップ
准教授	今泉 允聡	総 合	統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計学輪講、応用統計ワークショップ
准教授	栗栖 大輔	空 間	高次元統計分析、統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計的推測理論 I、統計的推測理論 II、統計学輪講、応用統計ワークショップ
准教授	松田 孟留	情 理	-	-
講 師	明石 郁哉	経 済	測度論的確率論 I、測度論的確率論 II、統計学輪講、応用統計ワークショップ	測度論的確率論 I、測度論的確率論 II、統計学輪講、応用統計ワークショップ
	統計学全教員		統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計学輪講、応用統計ワークショップ

## 地域研究コース

担当教員		所属	講義・演習題目	
職名	氏名		令和6年	令和7年
教授	丸川 知雄	社研	世界経済Ⅰ、世界経済Ⅱ、Chinese Economy、地域研究ワークショップⅠ、地域研究ワークショップⅡ	世界経済Ⅰ、世界経済Ⅱ、Chinese Economy、地域研究ワークショップⅠ、地域研究ワークショップⅡ
教授	青山 和佳	東文研	-	-
准教授	野原 慎司	経済	-	経済学史、社会・経済思想、世界経済Ⅰ、地域研究ワークショップⅠ、地域研究ワークショップⅡ
准教授	伊藤 亜聖	社研	Text Analysis for Economics and Area Studies、世界経済Ⅱ	-
准教授	樋渡 雅人	総合	-	国際開発論演習Ⅰ、国際開発論演習Ⅱ

## 経済史コース

担当教員		所属	講義・演習題目	
職名	氏名		令和6年	令和7年
教授	石原 俊時	経済	欧米経済史Ⅰ、現代西洋経済史の諸問題	欧米経済史Ⅱ、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ
教授	城山 智子	経済	アジア経済史の課題と方法、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ	アジア経済史の課題と方法
教授	中林 真幸	社研	日本経済史Ⅰ、日本経済史Ⅱ	Institutional Analysis of Japanese EconomyⅠ、Institutional Analysis of Japanese EconomyⅡ
教授	中村 尚史	社研	企業と産業の経済史、経済史研究の課題と方法	日本経済史Ⅰ、経済史研究の課題と方法
准教授	今泉 飛鳥	経済	近現代日本の社会と経済活動	日本経済史Ⅱ、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ
准教授	小島 庸平	経済	近現代日本経済史演習、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ	近現代日本経済史演習
准教授	森本 真世	社研	近代日本の労働と組織、近代日本における技能形成	近代日本の労働と組織、近代日本における技能形成
講師	佐々木 優	経済	Historical Political Economy	Historical Political Economy

## マネジメント専攻

### 経営学コース

担当教員		所属	講義・演習題目	
職名	氏名		令和6年	令和7年
教授	大日方 隆	経済	企業会計の基礎、会計情報と企業評価、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ	企業会計の基礎、財務会計Ⅱ、会計情報と企業評価、財務・会計ワークショップⅡ、経営学研究法
教授	粕谷 誠	経済	日本経営史Ⅱ、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営史入門、金融史、経営学研究法	日本経営史Ⅱ、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営史入門、経営学研究法
教授	首藤 昭信	経済	実証会計理論、財務・会計ワークショップⅡ	管理会計Ⅱ、実証会計理論、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ、財務報告研究、経営学研究法
教授	藤岡 里圭	経済	経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、現代日本流通史、日本経営史の諸問題、経営学研究法	経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、現代日本流通史、日本経営史の諸問題、経営学研究法
教授	米山 正樹	経済	財務会計Ⅱ、会計規制と財務報告制度、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ、会計情報システム	会計規制と財務報告制度、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ、会計情報システム、経営学研究法

教授	玄田 有史	社 研	雇用システム研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法	雇用システム研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法
教授	清水 剛	総 合	経営学研究法	経営学研究法
准教授	稲水 伸行	経 済	経営学文献講読、経営学ワークショップ I、経営学研究法	経営科学 II、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営組織研究、経営学研究法
准教授	大木 清弘	経 済	国際経営 II、経営学文献講読、国際経営研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法	国際経営 II、国際経営研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法
准教授	桑嶋 健一	経 済	技術経営 II、技術経営研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法	技術経営 II、技術経営研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法
准教授	山本 浩司	経 済	経営史 II、経営史研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法	経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営史研究、経営学研究法
講 師	舟津 昌平	経 済	経営管理 II、経営管理研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法	経営管理 II、経営管理研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法
講 師	元木 康介	経 済	フードシステム II、消費者行動研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法	マーケティング II、消費者心理学研究、経営学ワークショップ I、経営学ワークショップ II、経営学研究法

## 数量ファイナンスコース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和 6 年	令和 7 年
教授	高橋 明彦	経 済	経営財務 II、数量ファイナンスの基礎 I、数量ファイナンスの基礎 II	経営財務 II、数量ファイナンスの基礎 III、数量ファイナンスの基礎 IV
准教授	佐藤 整尚	経 済	数量ファイナンスの基礎 III、数量ファイナンスの基礎 IV	数量ファイナンス I、数量ファイナンスの基礎 I、数量ファイナンスの基礎 II
准教授	白谷健一郎	経 済	上級デリバティブ演習 II、上級プログラミング	上級デリバティブ演習 II、上級プログラミング
准教授	藤井 優成	経 済	上級デリバティブ II、上級デリバティブ演習 I、金融工学基礎	上級デリバティブ II、上級デリバティブ演習 I、金融工学基礎

〔注〕 経 済 : 経済学研究科  
 公 共 : 公共政策学教育部  
 社 研 : 社会科学研究所  
 東文研 : 東洋文化研究所  
 総 合 : 総合文化研究科  
 工 学 : 工学系研究科  
 空 間 : 空間情報科学研究センター  
 情 理 : 情報理工学系研究科

**\* ミクロ・マクロ経済学、計量経済学をはじめ一部の授業科目は英語で行われている。**